

令和3年4月1日

砂川市立病院

砂川市立病院における医療従事者の勤務環境改善の取組の推進について

当院における、医療従事者の勤務環境改善の取組の推進体制等は以下のとおりです。

記

1. 推進組織

定例主管者会議

2. 推進責任者

院長 田口宏一（砂川市病院事業組織規程第7条による）

3. 推進構成員

医師 1名（医局長）

看護師 4名（副看護部長）

医療技術員 7名（副薬剤長、放射線科技師長、検査科技師長、臨床工学科技師長、
精神作業療法科副技師長、リハビリテーション科副技師長、栄養管理室副科長）

事務員 7名（経営企画課長、管理課長、医事課長、地域医療連携課長、
認知症疾患医療センター副センター長、研修管理室副審議監、
附属看護専門学校副審議監）

教員 1名（附属看護専門学校副学校長）

計 20名

※計画の評価及び検証を行う際は、当院管理者（医療法上）である院長が出席する。

4. 病院職員に対する取り組みの周知方法

- ・会議における周知
- ・院内イントラネットへの掲載

5. 令和3年度負担軽減計画

別紙のとおり

【様式13の4（病院勤務医）関係】 ●医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容（必須取組事項）

■必ず計画に含む

| 項目 | 計画上必須項目 | | | 負担が軽減される職種※ | | | 現在の実施内容、必要な対処 | 当年度の取組目標 |
|---|---------|------|-------|-------------|------|-------|---|---|
| | 勤務医 | 看護職員 | 医療従事者 | 医師 | 看護職員 | 医療従事者 | | |
| 初診時の予診の実施 | 必須 | | | ● | - | - | 各外来において看護師もしくは医師事務作業補助者が実施している。 | ・実施できる体制を維持 |
| 入院の説明の実施 | 必須 | | | ● | ● | ● | 医師の治療方針の決定や病状の説明等の前後に、看護師等の医療従事者が情報収集や補足的な説明を行うとともに、患者・家族等の要望を傾聴し、医師と患者・家族等が十分な意思疎通を取れるように調整している。また、看護師等が療養生活の説明を行う。 入院支援センターにおいて、入院前の情報を基に入院後の治療経過や療養生活のオリエンテーションの実施、中止薬等の説明を行っている。 | ・実施できる体制を維持 ・実施できる体制を維持、入院支援センターを経由する診療科拡大 |
| 服薬指導 | 必須 | | | ● | ● | - | 院内すべての病棟において病棟薬剤業務及び薬剤管理指導業務が実施できるよう、薬剤師の増員、配置を行っている。 | ・実施できる体制を維持 |
| 静脈採血等の実施 | 必須 | | | ● | - | - | 看護師が静脈注射、採血、点滴ルートの確保を実施している。 | ・実施できる体制を維持 |
| 検査手順の説明の実施 | 必須 | | | ● | - | - | 主に看護師が実施している。 | ・実施できる体制を維持 |
| その他 a. 看護職員による救急医療トリアージ b. 助産師・認定看護師等による外来 c. 臨床工学技士による医療機器の点検管理 d. 医療職による学会認定による専門・認定資格取得 e. コメディカル、事務職も含めたチーム医療の実施 | 必須 | | | ● | - | - | 院内トリアージ実施料算定 助産師外来、母乳外来、慢性呼吸器疾患看護外来、慢性心不全看護外来、フットケア外来 人工呼吸器、生体情報モニタ 例：各専門・認定看護師、がん化学療法認定薬剤師、健診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、臨床細胞学会認定技師、透析技術認定士 等 NST、褥瘡対策、がん診療PDCAサイクル、がん化学療法、緩和ケア委員会等 | ・算定できる体制を維持 ・外来体制を維持 ・実施できる体制を維持 ・研修・取得できる体制を維持 ・実施できる体制を維持 |

※「負担が軽減される職種欄」中、「●」は実施しているもの、「▲」は検討中のもの、「-」は該当がないものである。

【様式13の4（病院勤務医）関係】 ●医師の負担軽減・処遇改善に係る項目（選択的取組事項）

■①～⑥のうち少なくとも2項目以上を含んでいること。ただし、処置又は手術の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1の届出に当たっては、必ず③を計画に含み、かつ①②及び④～⑥のうち少なくとも2項目以上を含んでいること。

| 項目 | 計画上必須項目 | | | 負担が軽減される職種※ | | | 現在の実施内容、必要な対処 | 当年度の取組目標 |
|--|-----------|------|-------|-------------|------|-------|--|--|
| | 勤務医 | 看護職員 | 医療従事者 | 医師 | 看護職員 | 医療従事者 | | |
| ①勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施 | 必須（2項目以上） | | | ● | - | - | 日直・当直のシフトについて、日直・当直は連続して勤務することが無いようなシフトを組んでいる | ・継続実施又は必要に応じた見直し |
| ②前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定の休息時間の確保 | 必須（2項目以上） | | | ▲ | - | - | 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律により、勤務間インターバルの導入が求められている（2024年4月）。地域医療の確保、応召義務、自己研鑽などの諸問題があるが、今後示される具体的水準等を見極め、健康を守る対策強化について検討していく。 | ・調査研究・検討 |
| ③予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮 | 必須（2項目以上） | | | ● | - | - | 当直の勤務シフトは一定のサイクルで付与している。定期予定手術の術者からの申し出により、特定の曜日（定期手術日）を当初から当直付与を除外したり、医師間での調整を行うなど、柔軟に対応している。 | ・継続実施又は必要に応じた見直し |
| ④当直翌日の業務内容に対する配慮 ア. 日直・当直明けの勤務体制 イ. 全館当直の免除 | 必須（2項目以上） | | | ● | - | - | 当直：次の日が替休 日直（土日祝の日中）：次の日が半日替休となっており、どうしても替休が取れない場合は4週以内に取り替えることになっている。 現状は替休を取得できている状況である。※HCU当直は業務の特性から宿日直手当を支給している 救急外来：常勤医（一部を除く）・臨床研修医師、ICU当直：麻酔科医師・救急科医師、HCU当直：常勤医（一部を除く） 担当医師数と月平均の日直・当直回数は関連資料③のとおりとなっている。 また、当直については、産婦人科医師、小児科医師（土日祝の日当直を免除、ただし輪番制の日直は行っている）、医局会議で免除を許可された医師を免除し、業務負担を軽減してはる。 | ・継続実施 ・継続実施又は必要に応じた見直し |
| ⑤交替勤務制・複数主治医制の実施 ア. 交代制勤務 イ. 複数主治医制 ウ. 救急外来対応 | 必須（2項目以上） | | | ▲ | - | - | 現在、日直・当直明けの勤務について免除し、医師の負担軽減を図っているところであるが、医師が充足されていないため、交代制勤務は難しいところである。引き続き医師確保を図りながら、交代制勤務導入に向け検討を行う。 内科医師の疲弊が見られることから、1人主治医制からチーム主治医制へ変更を行い、初期臨床研修医を交えた屋根瓦方式を採用した。また、チーム間ミーティング、カンファレンスの徹底を行い、医師の疲労・負担軽減を行っている。 休日及び夜間のコールが頻回であるため、入院が必要だが緊急で待機を呼ばなくても対応できる場合は、当直医及び研修医が翌日まで対応を図り、担当科への引き継ぎを翌日にしている。また、社会的入院患者について、当番制（内科、循環器内科、脳神経内科）を行っている。 | ・導入は相当数の医師数が必要であり、継続して検討 ・継続実施又は必要に応じた見直し ・継続実施又は必要に応じた見直し |
| ⑥育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用 ア. 法第23条第1項（3歳未満育児休暇未取得） イ. 法第23条第3項（要介護家族介護休暇未取得） ウ. 法第24条（小学就学初期） | 必須（2項目以上） | | | ● | ● | ● | 「砂川市職員の育児休業等に関する条例」により、育児短時間勤務制度及び部分休業について制度化されている。 現在、砂川市の条例が整備されていないので、制度制定に向け準備を行っている。 「砂川市職員の育児休業等に関する条例」により、育児短時間勤務制度及び部分休業について制度化されている。 | ・継続実施 ・制度制定準備 ・継続実施 |

※「負担が軽減される職種欄」中、「●」は実施しているもの、「▲」は検討中のもの、「-」は該当がないものである。

【様式13の2（医療従事者）関係】 ●医療従事者の負担軽減・処遇改善に係る項目（選択的取組事項）

※（イ）～（ト）のうち少なくとも3項目以上を含んでいること。ただし、許可病床数が400床以上の病院では必ず（イ）を計画に含むこと

| 項目 | 計画上必須項目 | | | 負担が軽減される職種※ | | | 現在の実施内容、必要な対処 | 当年度の取組目標 |
|--|---------|------|-----------|-------------|------|-------|---|---|
| | 勤務医 | 看護職員 | 医療従事者 | 医師 | 看護職員 | 医療従事者 | | |
| （イ） 外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携などの 外来縮小の取組 a. 外来診療時間の短縮 b. 地域の他の医療機関との連携 ●市内での日曜・祝日当番医制度 ●病院群輪番制運営事業 ●小児救急医療体制支援事業（小児科輪番制） ●ICTを活用した他医療機関・介護事業所・薬局との連携 ○砂川市地域包括ケアネットワークシステム（H27.11稼働） ○中空知医療連携ネットワーク（H28.8稼働） c. その他 ●初診時選定療養費値上 ●啓発活動 | | | 必須 | ● | ● | ● | H30.1、内科・循環器内科の疲労が顕著となったため、内科での午後新患受付を中止、後期研修医の午後外来を廃止した 【砂川市事業】 【関連市事業】 当院、滝川市立病院、滝川脳神経外科病院、あかびら市立病院、市立芦別病院 【関連市事業】 当院、滝川市立病院、あかびら市立病院 当院の医療情報等をネットワークに参加する市内の医療機関・介護事業所等で共有し、質の高い、切れ目のない医療・介護サービスを提供することが目的 中空知の医療機関（病院・診療所及び調剤薬局）が、診療情報公開病院（当院、滝川市立病院、あかびら市立病院、市立芦別病院、奈井江町立国保病院）に蓄積された診療情報を共有することが目的 H30.1、内科・循環器内科の初診時選定療養費を1,000円（税抜）から3,500円（税抜）に値上げ 逆紹介の推進、当院への外来集中を抑制することを目的に「かかりつけ医」等について、病院ホームページ上、病院広報誌に挟み込み、啓発を行っている。 また、令和元年1月から、病院事業管理者が地域の団体の会合へ出向き、当院の状況（外来抑制、紹介・逆紹介推進）について講話している | ・継続実施 ・継続実施される予定 ・継続実施される予定 ・継続実施される予定 ・継続実施 ・継続実施及び対象範囲拡大 ・継続実施及び他科の状況を注視 ・継続実施 |
| （ロ） 院内保育所の設置 a. 夜間帯の保育の実施 b. 病児保育の実施 | | | 必須（3項目以上） | ● | ● | ● | 希望者の24時間保育を実施している 【砂川市事業】 病院建物内で病児・病後児保育を実施している | ・継続実施 ・継続実施される予定 |
| （ハ） 医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の事務作業の負担軽減 a. 医師事務作業補助者による文書作成 b. 医師事務作業補助者による入退院時業務 c. 医師事務作業補助者による外来業務 d. 医師事務作業補助者によるその他業務 | | | 必須（3項目以上） | ● | ● | - | 診断書・証明書、診療情報提供書、返書、生活保護医療要否意見書、介護保険主治医意見書、更生医療要否意見書、訪問看護指示書、傷病手当金請求書 死亡診断書、出生証明書等 入院診療計画書入力・発行、クリニカルパス表の入力・発行、病名入力、退院サマリーの作成 患者呼び込み、問診票の要約入力、カルテ代行入力、処方・注射・検査・処置・指導料等の各種オーダー入力、診療予約入力・予約票発行、予約変更に伴う各種オーダー修正、病名入力、検査等の承諾書の入力・発行、電話対応（診察室内線・スマートフォン） レセプト病名入力、患者別・疾患別・手術別等のデータ入力、学会スライド作成、カンファレンス資料・議事録作成、未承認オーダー確認 | ・現状体制維持及び継続実施又は必要に応じた見直し ・必要医師事務作業補助者数確保 ・継続的な教育研修の実施 |
| （ニ） 病院勤務医の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善 | | | 必須（3項目以上） | ● | - | - | 【様式13の2関係】 「医師の負担軽減・処遇改善に係る項目（選択的取組事項）」①～⑤のとおり | |
| （ホ） 特定行為研修修了者である看護師複数名の配置及び活用による病院勤務医の負担軽減 | | | 必須（3項目以上） | ▲ | - | - | | ・今後検討 |
| （ヘ） 院内助産又は助産師外来の開設による病院勤務医の負担軽減 | | | 必須（3項目以上） | ● | - | - | 地域周産期母子医療センターとして、また、旭川から岩見沢間で唯一お産ができる施設として、助産師数を充足させながら役割を担っている。また、助産師外来・母乳外来を開設し、医師の負担軽減を図っている | ・現状体制維持及び継続実施 |
| （ト） 看護補助者の配置による看護職員の負担軽減 | | | 必須（3項目以上） | ● | ● | ● | 看護助手によるベッドメイキング、患者の検査等への移送、クラーク等による院内の書類・物品の運搬・補充、入院患者に係る食事の配膳・下膳 | ・継続実施、看護助手等の確保 |

※「負担が軽減される職種欄」中、「●」は実施しているもの、「▲」は検討中のもの、「-」は該当がないものである。

【様式13の3（看護職員）関係】 ●看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容

※必須項目の記載はない

| 項目 | 計画上必須項目 | | | 負担が軽減される職種※ | | | 現在の実施内容、必要な対処 | 当年度の取組目標 |
|---------------------------|---------|------|-------|-------------|------|-------|---|------------------|
| | 勤務医 | 看護職員 | 医療従事者 | 医師 | 看護職員 | 医療従事者 | | |
| ア. 業務量の調整 | | | | | | | | |
| a. 時間外労働が発生しないような業務量の調整 | | 任意 | | — | ● | ● | 看護職員の大幅な増員、産前産後休暇・育児休暇等の長期休暇の際の臨時職員補完、リリーフ体制の強化、記録の整備、必要度監査による業務整理などを実施している。また、各種委員会・会議の統廃合も進めた。 | ・継続実施又は必要に応じた見直し |
| イ. 看護職員と他職種との業務分担 | | | | | | | | |
| a. 薬剤師 | | | | ● | ● | — | 全病棟への薬剤師配置により、持参薬の鑑別業務や注射薬のミキシングなど役割分担を明確にし、業務の負担軽減を図っている。 | ・実施できる体制を維持 |
| b. リハビリ職種（PT、OT、ST） | | | | ● | ● | — | 退院時リハビリテーション指導書の作成や、退院前自宅訪問の実施をリハビリ職種が行っている。 | ・実施できる体制を維持 |
| c. 臨床検査技師 | | 任意 | | ● | ● | — | 採血業務の一部や、看護師に代わり内視鏡助業務の実施をしている。また、聴力検査を耳鼻咽喉科外来から、自動聴性脳幹反応検査及び呼気一酸化窒素検査を小児科外来から移行した。 | ・実施できる体制を維持 |
| d. 臨床工学技士 | | | | ● | ● | — | 透析業務、内視鏡業務において、看護師に代わり臨床工学技士が従事し、看護業務を補っている。 | ・実施できる体制を維持 |
| e. その他 | | | | | | | | |
| ● 介護福祉士 | | | | ● | ● | ● | 高齢で自立度が低い患者の増加により、介護福祉士を積極的に採用することで、看護業務に専念できる環境を整えている。一部夜間勤務にも従事している。 | ・実施できる体制を維持 |
| ● 入退院支援担当者（社会福祉士・精神保健福祉士） | | | | ● | ● | ● | 病棟配置し、患者及び他医療機関との連携・支援を行っている。 | ・実施できる体制を維持 |
| ウ. 看護補助者の配置 | | 任意 | | ● | ● | ● | 「医療従事者の負担軽減・処遇改善に係る項目（選択的取組事項）」（ホ）に加え、看護助手の夜間勤務や早出・遅出等勤務時間を柔軟に対応している。 | ・継続実施又は必要に応じた見直し |
| エ. 短時間正規雇用の看護職員の活用 | | 任意 | | — | ▲ | — | 総務省の指針において、各地方公共団体における公務の運営においては、任期の定めのない常勤職員を中心とする原則が示されていることから困難である。 | ・調査・研究 |
| オ. 多様な勤務形態の導入 | | 任意 | | — | ● | — | 部署内の協議（総意）により、院内全体で3交代・2交代混在の病棟運営とし、負担軽減を図っている。 | ・必要に応じた見直し |
| カ. 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮 | | | | | | | | |
| a. 院内保育所 | | | | ● | ● | ● | 「医療従事者の負担軽減・処遇改善に係る項目（選択的取組事項）」（ロ）のとおり | |
| b. 夜間保育の実施 | | | | ● | ● | ● | | |
| c. 休日勤務の制限制度 | | 任意 | | ● | ● | ● | 「砂川市職員の育児休業等に関する条例」により、育児短時間勤務制度及び部分休業について制度化されている。 | ・継続実施 |
| d. 半日・時間単位休暇制度 | | | | ● | ● | ● | | |
| e. 所定労働時間の短縮 | | | | ● | ● | ● | | |
| f. 他部署への配置転換 | | | | — | ● | — | 職員からの申し出により柔軟に対応している。 | ・継続実施 |
| キ. 夜勤負担の軽減 | | | | | | | | |
| a. 夜勤従事者の増員 | | 任意 | | — | ● | — | 看護師長による管理当直を行い、看護業務支援を実施している。 | ・継続実施 |
| b. 月の夜勤回数の上限定 | | | | — | ● | — | 看護職の上限回数の公式な目安は1965年の人事院による「ニッパチ」判定と、1992年の「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づく国の基本指針「月8回以内の夜勤体制の構築に向けて積極的に努力する必要がある」の二つがある。当院としては3交代8回以内、2交代4回以内を目指しているが、やむを得ない状況において、この回数を超過する場合は、夜間看護等手当に800円、1,600円をそれぞれ加給している。 | ・継続実施 |

※「負担が軽減される職種欄」中、「●」は実施しているもの、「▲」は検討中のもの、「—」は該当がないものである。

●病院勤務医・医療従事者・看護職員の負担の軽減に資する計画 目標値検証シート

本計画については、H29年3月に作成した「砂川市立病院改革プラン、バランススコアカード（BSC）アクションプランと密接な関連性を有するため、数値目標については、これらの計画上の数値を用いる。

「改革プランから抜粋した負担軽減に資する取り組み」については、外部有識者を含めた「砂川市立病院経営改善評価委員会」の場において、年1回以上の点検を行い、実績と計画の乖離を評価し、必要に応じて見直しを図っている。

■改革プランから抜粋した負担軽減に資する取り組み

| ■病院全体 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|----------------------------------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|
| ●就労環境の改善に取り組み、地域・職員に愛される病院 | | | | | | | | | | | | |
| 医療機器の適正更新（対予算消費率） | 100% | 100% | 100% | Crear | 100% | 96% | Crear | 100% | 100% | Crear | 100% | 100% |
| 外来患者数の適正化（入外患者比率） | 2.8 | 2.77 | 2.58 | Crear | 2.72 | 2.66 | Unclear | 2.69 | 2.77 | Crear | 2.69 | 2.69 |
| そら-ねっと（中空知地域医療連携ネットワークシステム）登録患者数 | 100人 | 200人 | 1,394人 | Crear | 300人 | 3,061人 | Crear | 400人 | 4,668人 | Crear | 500人 | 500人 |
| 逆紹介患者数 | 4,500人 | 4,500人 | 4,968人 | Crear | 4,500人 | 5,224人 | Crear | 4,500人 | 8,599人 | Crear | 4,500人 | 4,500人 |
| 紹介患者数 | 6,600人 | 6,600人 | 6,460人 | Unclear | 6,600人 | 7,136人 | Crear | 6,600人 | 7,456人 | Crear | 6,600人 | 6,600人 |
| 常勤医師数 | 71人 | 74人 | 75人 | Crear | 78人 | 73人 | Unclear | 78人 | 74人 | Unclear | 78人 | 78人 |
| 有給取得数 | 7.1日 | 10.0日 | 8.2日 | Unclear | 10.0日 | 9.1日 | Unclear | 11.0日 | 9.9日 | Unclear | 11.0日 | 11.0日 |
| 組織活性化（意欲度） | 4.52 | 4.64 | 4.51 | Unclear | 4.76 | 64.2 | Crear | 前年比増加 | 4.89 | Crear | 前年比増加 | 前年比増加 |
| 組織活性化（満足度） | 4.29 | 4.47 | 4.44 | Unclear | 4.65 | 63.2 | Crear | 前年比増加 | 4.84 | Crear | 前年比増加 | 前年比増加 |

※コメント

医療機器適正更新は、落札差金によるものであり、購入を予定していた医療機器はすべて購入した。（実績値99.5%）

有給取得数は、目標には届かなかったものの、H30年度比、伸びが見られる。（有給休暇年間5日の完全取得が法改正により義務化され、各部署で取得に向けた取り組みを行ったことが一要因）

組織活性化（意欲度・満足度）については、測定の方法が変更となった。（より詳細な分析） 両指標ともポジティブな位置付けとなっているためClearとした。

■各部署のアクションプランから抜粋した負担軽減に資する取り組み

「各部署のアクションプランから抜粋した負担軽減に資する取り組み」については、四半期ごとに実績を集約し、目標達成のために軌道修正を実施しながら、年度ごとに全体で振り返りを実施する。

| ■看護部 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|-----------------------------------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|-----------|---------|---------|---------|
| ●専門・特定看護師によるチーム医療の推進や、看護外来等の充実を図る | | | | | | | | | | | | |
| 多職種カンファレンス開催（退院支援強化） | | 週1～2回 | 実施 | Crear | 週1～2回 | 実施 | Crear | 週1～2回 | 実施 | Crear | 週1～2回 | 週1～3回 |
| 看護師離職率 | | | | | | | | | | | | |
| （新人） | 0% | 0% | 0% | Crear | 0% | 0% | Crear | 0% | 0% | Crear | 0% | 0% |
| （2年目以降） | 5%以内 | 5%以内 | 6.5% | Unclear | 5%以内 | 3.0% | Crear | 5%以内 | 0.4% | Crear | 5%以内 | 5%以内 |
| 有休消化率 | 7.1日 | 10日 | 10日 | Crear | 12日 | 9.7日 | Unclear | 14日 | 11日 | Unclear | 16日 | 16日 |
| 時間外の減少 | | 6,000時間 | 4,418時間 | Crear | 5,000時間 | 4,124時間 | Crear | 5,000時間 | 3,586時間 | Crear | 4,500時間 | 4,000時間 |
| 院内認定テクニカルナース育成 | 11コース | 11コース | 25名育成 | Crear | 11コース | 9コース | Unclear | 11コース | 20名育成 | Crear | 11コース | 8コース |
| 認定看護師の育成 | 糖尿病 | 認知症ケア | - | Unclear | 感染管理 | 認知症1名受講中 | Crear | 皮膚排泄 | - | Unclear | 緩和ケア | 特定行為 |
| 専門・特定看護師育成 | - | 小児看護 | 小児看護 | Crear | - | 慢性期1名受講中 | Crear | 老人看護 | 老人看護1名受講中 | Crear | 慢性期看護 | - |
| 看護管理者育成 | | | | | | | | | | | | |
| （ファースト） | 4人 | 4人 | 2人 | Unclear | 4人 | 4人 | Crear | 4人 | 3人 | Unclear | 4人 | 4人 |
| （セカンド） | 2人 | 2人 | 1人 | Unclear | 2人 | 2人 | Crear | 2人 | 2人 | Crear | 2人 | 2人 |
| （サード） | 1人 | 1人 | 1人 | Unclear | 1人 | 1人 | Crear | 1人 | 0人 | Unclear | 1人 | 1人 |

※コメント

有給消化率については、目標には届かなかったものの、H30年度比、伸びが見られる。

| ■薬剤部 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|--|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|------|------|
| ●①引き続き薬剤師の確保に努め、医療従事者の負担軽減を図る ②服薬指導等を通じて、医師への情報提供等を実施する ③チーム医療における協働を推進することで、医療従事者の負担軽減を図る | | | | | | | | | | | | |
| 薬剤管理指導（対H27比） | 25%増 | 50%増 | 50%増 | Crear | 60%増 | 88%増 | Crear | 60%増 | 91%増 | Crear | 60%増 | 60%増 |
| 病棟薬剤業務実施加算 | - | - | - | - | 加算取得 | 加算取得 | Crear | 加算取得 | 加算取得 | Crear | 加算取得 | 加算取得 |
| 他の医療職に対する勉強会開催 | 22回 | 25回 | 12回 | Unclear | 25回 | 19回 | Unclear | 25回 | 16回 | Unclear | 25回 | 12回 |
| 薬剤師数 | 24人 | 26人 | 26人 | Crear | 30人 | 30人 | Crear | 30人 | 31人 | Crear | 30人 | 32人 |
| 資格取得種類数 | 11種 | 13種 | 13種 | Crear | 14種 | 14種 | Crear | 14種 | 15種 | Crear | 16種 | 17種 |

| ■放射線科 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|-------------------------------------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----|-----|
| ●緊急検査時の体制を維持することにより、診療における安心安全につなげる | | | | | | | | | | | | |
| 緊急検査対応可能人数の維持 | | | | | | | | | | | | |
| CTA | 3人 | 4人 | 6人 | Crear | 5人 | 5人 | Crear | 6人 | 5人 | Unclear | 6人 | 9人 |
| MRI | 5人 | 6人 | 6人 | Crear | 7人 | 7人 | Crear | 7人 | 7人 | Crear | 7人 | 17人 |
| Angio | 5人 | 6人 | 6人 | Crear | 7人 | 7人 | Crear | 7人 | 7人 | Crear | 7人 | 12人 |
| 認定技師等による年1回以上の研修会実施 | | 実施 | - | Unclear | 実施 | 実施 | Crear | 実施 | 実施 | Crear | 実施 | 実施 |

| ■検査科 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|--|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|-------|-----|-----|
| ●職員の満足度を図り、専門的知識を習得することにより、診療における安心安全につなげる | | | | | | | | | | | | |
| 有給休暇目標取得日数 | 10日 | 10日 | 9.3日 | Unclear | 10日 | 9日 | Unclear | 10日 | 10日 | Crear | 10日 | 10日 |
| 各認定資格の取得 | 2資格 | 2資格 | 1資格 | Unclear | 2資格 | 2資格 | Crear | 1資格 | 1資格 | Crear | 1資格 | 1資格 |

| ■リハビリテーション科 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|----------------------------------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|------|-----|
| ●チーム医療を推進することにより、診療における安心安全につなげる | | | | | | | | | | | | |
| 急性期リハの充実（リハ処方から介入までの日数） | 1.6日 | 1.5日 | 1.36日 | Crear | 1.5日 | 0.97日 | Crear | 1.5日 | 0.91日 | Crear | 1.5日 | 1日 |
| 総合実施計画書算定維持（算定率） | 78% | 80% | 63% | Unclear | 80% | 68% | Unclear | 85% | 70% | Unclear | 85% | 85% |

※コメント

総合実施計画書算定については、目標には届かなかったものの、H30年度比、伸びが見られる。

| ■臨床工学科 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|---|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|-------|-----|-----|
| ●高度管理医療機器、管理医療機器の点検や研修実施することにより、診療における安心安全につなげる | | | | | | | | | | | | |
| 多職種への研修（回数） | | 12件 | 12件 | Crear | 12件 | 21件 | Crear | 12件 | 29件 | Crear | 12件 | 12件 |
| 始業点検・病棟巡回（呼吸器） | 実施 | 実施 | 実施 | Crear | 実施 | 実施 | Crear | 実施 | 実施 | Crear | 実施 | 実施 |
| 日常点検（呼吸器） | 実施 | 実施 | 実施 | Crear | 実施 | 実施 | Crear | 実施 | 実施 | Crear | 実施 | 実施 |

| ■栄養管理室 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|-----------------------------------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|
| チーム医療における協働を推進することで、医療従事者の負担軽減を図る | | | | | | | | | | | | |
| 栄養指導件数（外来） | 20件/月 | 22件/月 | 29件/月 | Crear | 25件/月 | 15件/月 | Unclear | 28件/月 | 17件/月 | Unclear | 30件/月 | 30件/月 |
| 栄養指導件数（入院） | 30件/月 | 35件/月 | 31件/月 | Unclear | 40件/月 | 37件/月 | Unclear | 45件/月 | 24件/月 | Unclear | 50件/月 | 40件/月 |

※コメント

栄養指導（外来・入院）は、調理員不足により、栄養士が調理場へ入ったため目標には届かなかった。（調理員採用はセカンドキャリア等の新たな勤務形態での募集を行ったり工夫している。R2年度、栄養士1名採用。）

| ■研修管理室 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|---|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|
| 当院の初期臨床研修の特徴的なプログラムである、臨床研修医による救命救急センターでの全科日当直の体制を維持することにより、医師の負担軽減を図る。 | | | | | | | | | | | | |
| 研修医の確保（病院見学学生） | 50人 | 60人 | 71人 | Crear | 60人 | 74人 | Crear | 60人 | 75人 | Crear | 60人 | 40人 |
| 研修医の確保（採用試験受験者） | 12人 | 20人 | 15人 | Unclear | 20人 | 19人 | Unclear | 20人 | 16人 | Unclear | 20人 | 15人 |
| 研修医の確保（臨床実習受け入れ） | 50人 | 60人 | 35人 | Unclear | 60人 | 44人 | Unclear | 60人 | 42人 | Unclear | 60人 | 30人 |

| ■管理課 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|-----------------------------|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|------|------|
| 就労環境を整備することにより、働きやすい環境を整える。 | | | | | | | | | | | | |
| 1人当たり時間外勤務時間数（年間、医師を除く） | 116時間 | 104時間 | 119時間 | Unclear | 99時間 | 106時間 | Unclear | 99時間 | 84時間 | Unclear | 99時間 | 90時間 |

※コメント

時間外勤務数は目標には届かなかったものの、H30年度比、縮減が見られる。

| ■医事課 | H28年度見込 | H29年度目標値 | H29年度実績値 | H30年度目標値 | H30年度実績値 | R元年度目標値 | R元年度実績値 | R2年度目標値 | R3年度目標値 | | | |
|---|---------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|
| 医師事務作業補助者を充足させることにより、医師が診療に専念できる環境を整える。 | | | | | | | | | | | | |
| 医師事務作業補助者数 | 23人 | 28人 | 25人 | Unclear | 33人 | 33人 | Crear | 33人 | 33人 | Crear | 33人 | 34人 |
| クリニカルバス大会開催数 | 0回 | 1回 | 1回 | Crear | 2回 | 1回 | Unclear | 2回 | 0回 | Unclear | 2回 | 2回 |

関連資料

①職種別・年度別職員数

平成22年の新病院改築以来、多くの職種で増員を図り、医療職の負担軽減を図っている。

| 職種別 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 医師 | 81 | 84 | 87 | 89 | 85 | 88 | 90 | 91 | 98 | 96 |
| 医師 | 66 | 69 | 70 | 72 | 71 | 72 | 72 | 73 | 78 | 78 |
| 研修医師 | 15 | 15 | 17 | 17 | 14 | 16 | 18 | 18 | 20 | 18 |
| 看護師 | 422 | 434 | 455 | 455 | 459 | 459 | 473 | 491 | 505 | 521 |
| 助産師 | 16 | 19 | 20 | 22 | 23 | 20 | 18 | 17 | 16 | 17 |
| 看護師 | 366 | 381 | 403 | 403 | 406 | 412 | 429 | 449 | 464 | 480 |
| 准看護師 | 40 | 34 | 32 | 30 | 30 | 27 | 26 | 25 | 25 | 24 |
| 医療技術員 | 89 | 97 | 94 | 107 | 112 | 126 | 139 | 143 | 154 | 160 |
| 薬剤師 | 16 | 17 | 17 | 20 | 18 | 19 | 25 | 26 | 30 | 32 |
| 診療放射線技師 | 22 | 24 | 24 | 25 | 26 | 26 | 25 | 27 | 27 | 27 |
| 臨床検査技師 | 24 | 25 | 23 | 25 | 26 | 29 | 30 | 30 | 32 | 31 |
| 理学療法士 | 7 | 7 | 5 | 6 | 11 | 14 | 16 | 16 | 18 | 18 |
| 柔道整復師 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| 言語聴覚士 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 作業療法士 | 3 | 5 | 6 | 6 | 6 | 7 | 9 | 8 | 9 | 9 |
| 視能訓練士 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| 臨床工学技士 | 8 | 9 | 9 | 10 | 11 | 14 | 15 | 17 | 19 | 20 |
| 栄養士 | 5 | 6 | 6 | 9 | 8 | 10 | 11 | 10 | 10 | 11 |
| 公認心理士 | | | | | | | | | | 2 |
| 歯科衛生士 | | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 4 |
| 事務員 | 48 | 65 | 70 | 66 | 70 | 77 | 77 | 85 | 87 | 99 |
| 事務員 | 42 | 59 | 45 | 41 | 42 | 46 | 44 | 47 | 49 | 53 |
| 診療情報対策監 | | | | | | | 1 | 2 | 2 | 2 |
| 医師事務作業補助者 | | | 19 | 19 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 35 |
| 社会福祉士 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 4 | 3 | 4 |
| 精神保健福祉士 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 |
| 公認心理士 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | - |
| 医療ソーシャルワーカー | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 労務員 | 92 | 104 | 107 | 109 | 105 | 107 | 106 | 113 | 104 | 109 |
| 介護福祉士 | 4 | 4 | 4 | 7 | 8 | 14 | 16 | 21 | 20 | 22 |
| 調理員 | 30 | 31 | 32 | 33 | 32 | 32 | 29 | 31 | 27 | 29 |
| 看護助手 | 38 | 48 | 53 | 53 | 50 | 49 | 50 | 50 | 45 | 46 |
| 医療助手 | 7 | 9 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 | 7 | 7 | 7 |
| 医療安全対策監 | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 労務員 | 13 | 12 | 11 | 8 | 7 | 4 | 2 | 3 | 4 | 4 |
| 病院事業（計） | 732 | 784 | 813 | 826 | 831 | 857 | 885 | 923 | 948 | 985 |
| 専門学校 | 11 | 11 | 12 | 12 | 13 | 12 | 12 | 12 | 13 | 15 |
| 教員 | 9 | 10 | 10 | 10 | 11 | 10 | 10 | 10 | 11 | 12 |
| 事務員 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| 専門学校（計） | 11 | 11 | 12 | 12 | 13 | 12 | 12 | 12 | 13 | 15 |
| 合計 | 743 | 795 | 825 | 838 | 844 | 869 | 897 | 935 | 961 | 1,000 |
| 病床数 | 521 | 506 | 506 | 506 | 498 | 498 | 498 | 498 | 498 | 498 |
| 1日平均患者数 | 365 | 366 | 365 | 365 | 365 | 366 | 365 | 365 | 365 | 366 |
| 1日平均患者数 | 374 | 393 | 394 | 380 | 372 | 380 | 378 | 410 | 398 | 379 |
| 1日平均患者数 | 241 | 245 | 245 | 245 | 246 | 244 | 243 | 244 | 244 | 240 |
| 1日平均患者数 | 1,062 | 1,057 | 1,073 | 1,081 | 1,069 | 1,065 | 1,048 | 1,056 | 1,056 | 1,049 |

②令和元年度における各診療科非常勤医師数（短期出張医）数（常勤換算、月平均値）

常勤医師が充足されていない分、多くの診療科で非常勤医師（短期出張医）の派遣を積極的に要請し、外来診療、手術、宿日直業務等に当たっている。平成30年度実績では、全科11.4名/月（平均値）の短期出張医を要請している。

| 診療科 | 医師数 | 診療科 | 医師数 | 診療科 | 医師数 |
|--------|-----|--------|-----|------------|------|
| 内科 | 2.2 | 整形外科 | 0.6 | 耳鼻咽喉科 | 0.4 |
| 精神科 | 0.4 | 形成外科 | 0.2 | 放射線治療科 | - |
| 脳神経内科 | 0.2 | 脳神経外科 | 2 | 放射線診断科 | 0.1 |
| 循環器内科 | 1.7 | 心臓血管外科 | 0.3 | 病理診断科 | 0.1 |
| 小児科 | 0.2 | 皮膚科 | - | 麻酔科 | 0.6 |
| 消化器外科 | - | 泌尿器科 | 0.3 | 救急科 | 0.5 |
| 乳腺外科 | - | 産婦人科 | 0.9 | リハビリテーション科 | 0.1 |
| 緩和ケア外科 | - | 眼科 | - | 歯科 | 0.4 |
| | | | | 合計 | 11.2 |

③当直翌日の業務内容に対する配慮

●令和元年度における日直・当直医師数及び回数

| 勤務の種類 | 月平均の回数 | | 令和2年3月1日 現在の担当医師数 |
|-------------|--------|--------------------|----------------------|
| | 日直 | 当直 | |
| 救急外来 | 0.7回 | 平日 1.1回 休日 0.5回 | 44人 |
| ICU当直 | 1.4回 | 平日 2.9回 休日 1.4回 | 7人 |
| HCU当直 | 0.2回 | 平日 0.5回 休日 0.2回 | 38人 |
| 輪番制の日直（小児科） | 0.3回 | - 回 | 3人 |

④院内保育所の利用状況

| | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 実人数 | 14名 | 24名 | 36名 | 47名 | 43名 | 54名 | 53名 |
| 一時預かり | 39名 | 延183名 | 延395名 | 延456名 | 延123名 | 延210名 | 延573名 |

| | R元 |
|-------|-------|
| 実人数 | 48名 |
| 一時預かり | 延269名 |